

令和5年（2023年）ありがとう！

あとわずかで本年も終了です。保護者の皆様、本当にお世話になりました。アフターコロナもあり、本年は、多くの方が本校を訪れ、12月1日には、松居総領事にもおいでいただきました。ワーキングホリデーでNZに在住の方や、日本で教員をされている方の訪問もありました。その中で、参観者からは「落ち着いていて、授業態度が立派ですね。」「自由な雰囲気の中でも、真剣に取り組んでいますね。」「日本の学校のようにですね。」「ランドセルに感動しました。」等、多くのお褒めの言葉をいただきました。中には「先生方の指導が素晴らしい。」とメモを取る方もいらっしゃいました。

先週は、コロナ禍で一時中断していた「あいさつ運動」を再開しました。恥ずかしくて声に出せない子もいましたが、それぞれが、あいさつすることの大切さを学ぶことができました。クラスごとの自由参加ですが、今後も日程を調整して実施していきます。

来年もよろしくお願いいたします。皆様、良いお年をお迎えください。（鈴木哲）



力を合わせた運動会

12月3日に OTHC グラウンドで、運動会が開催されました。生憎の雨で開催が危ぶまれる天候でしたが、プログラムを短縮するなどして開催いたしました。運動会に向けて練習してきた「台風の目」、「大玉ころがし」、「親子アイスクリーム競走」、「障害物競

走」、「大玉おくり」は実施することができました。「徒競走」も閉会式の後に、走りたい生徒を中心に開催され、今回が最後となる中学三年生は自由なスタイルで走るのを楽しみ、場内を沸かせていました。日本人会主催の「パン食い競争」は雨の中でも例年通りたくさんの参加者で大盛況でした。結果は赤組の優勝でした。今年の運動会のテーマは「力を合わせて」でした。雨の中の運動会となりましたが、お手伝いの PTA、ボランティアの卒業生、理事の皆様、日本人会の皆様、総領事、そして保護者の皆様のご協力と教員一同が一つになったことで、難しい天候でしたが運動会を開催することができました。本当にありがとうございました。（中村）

S っ こ 集 会

S コース独自の取り組みで、年3回行われる S っ こ 集 会。毎回、日本の季節や行事にちなんだ発表や、教材をもとにした劇などが披露されています。大トリの今回は1, 2年生の発表です。総合司会は、上級生さんたちが落ち着いた様子で行ってくれました。かわいいちびっこパフォーマーたちが、一生懸命に人文字を作ります。「さあ、この文字はなんでしょう?」「すし!」司会の教員と、観客の上級生や保護者のみなさんとの楽しいクイズのやりとりが続きます。「とまと」「いし」「てつ」「とけい」「ますく」ひらがなって面白いですね。おおきくカーブしていたり、一周ぐるっとまわっていたり。身体で表現するのが大変難しい字もありますが、みなとても上手に表現していました。おかげでクイズは大盛り上がり。最後は、1, 2年生全員で「あいとへいわ」の人文字で締めくくり、盛会に終わった一日でした。1, 2年生にとっても、たくさんの人の前で発表し、観客のみなさんに楽しんでもらえたことで大変良い体験となったのではないのでしょうか。フレッシュ1, 2年生たちの今後のパフォーマーとしての成長も楽しみですね！（上出）



「はい、わかりやすい問題から。これは?」
「はい、すし!」



「さあ2年生のみんなが作っているこれは何かな?」
「うーん、あ、わかった、はい!とまと!」



最後はみんなで「あいとへいわ」決まった！

【教職員紹介】

皆さんこんにちは。今年度より、小学部・中学部で担任及び理科の担当をしております、上出恵（うえてめぐみ）と申します。昨年5月に、娘の留学に付き添いニュージーランドに参りまして、NZ 生活としてはフレッシュマンです。

私の出身は、日本の本州最南端の漁師町、和歌山県串本町。実は、ペリー提督の浦賀黒船来航より62年前も前に、アメリカの商船が来航していたという史実のある町です。また、トルコとの友好の町でもあります。19世紀末オスマン・トルコ帝国使節団が明治天皇への謁見をした後、彼らの乗った軍艦エルトゥール号が串本町沖で座礁しました。多くの人命が失われてしまいましたが、町の人たちが不眠不休で救助活動を行い、その献身が、二国間の絆を結び、現在にいたります。



串本からは昔から海外への移民も多く、太平洋に突きだした地理的特徴ゆえか、海外との接触の多い町でした。町唯一の高校には「英語科」があり、私はそこで学び、自然と高校英語教員になりました。20年ほどの勤務ののち、大学非常勤教員を4年ほど勤め、現在に至ります。オークランドの多様性、おおらかさは、私の大好きな故郷を思い出させます。また、それはまさしく、補習校の子どもさんたちにも通じる得難い特性だと思います。彼らの素直な感性、親しみあふれる笑顔、相手を尊重しながらも自身の考えを述べられる積極性、それらはニュージーランドが海洋国家として広く世界に開かれ、多様な人々を受け入れてきた証かもしれません。

日本とNZという二つもしくは三つ以上の「故郷」を持つAJJSっ子たち。それぞれの文化に愛着を持ち、それらを俯瞰して眺め、どれ一つも切り捨てることなく「丸ごとの唯一無二の自分自身」を愛し、人や世界を愛する大人になっていくことでしょう。そんな皆さんと出会えたことは私にとってかけがえのない経験です。（上出）

今後の予定

12月	17日(日)~夏休み
1月	16日(火)Aコース始業 30日(火)Bコース始業
2月	3日(土)Sコース始業 11日(日)漢字能力検定試験② 17日(土)・18(日)林間学校
3月	14日(木)Bコース小学部学習発表会 15日(金)Aコース小学部学習発表会 16日(土)Sコース修了式 21日(木)Bコース小学部、Aコース中学部修了式 22日(金)Aコース小学部修了式 23日(土)卒業式